

## ドナウ通信

在ブダペスト

日本人会報

## 御挨拶

在ハンガリー大使

関 栄 次

1991年は湾岸戦争に始まり、ソ連邦の消滅という一昔前には夢想だにし得なかった歴史的な大事件で幕を下ろしましたが、その余震は1992年にも世界を揺さぶり続けるであります。

世界が東西の対立・冷戦の姿から全く新しい段階に入りつつあることは間違いないかもしれませんが、果たして今後の世界が平和と豊かさを享受できるのか誰も断言はできません。むしろ、最近の劇的な変動は、民族紛争、飢餓、宗教対立、核の不安などを一層顕在化させ、世界の政治と経済に多くの難しく不安定な要因をもたらしました。

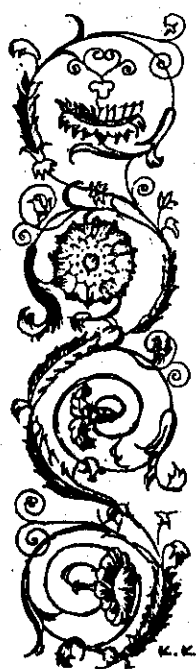
日本は戦争の荒廃から立ち直り、今や国際社会で大きな地歩を占めるに至りましたが、これまでの日本の驚異的な発展は、すでに消滅した東西の対立・冷戦という与件の中で達成されたものです。そこで、私どもが従来の考え方や行動様式から脱却しなくては、激動し不安定なこれからの世界に対処することは難しいと言わねばなりません。

とくにわが国は今後の国際社会でその地位と国力に相応しい貢献を求められており、しかも経済や技術の分野ばかりでなく、国際政治の面でも世界の平和と繁栄のために指

導的役割を果たすことを期待されています。そして多くの日本人がその様な国際的な期待に積極的に応えることを望んでいると思います。

しかし、わが国の最近の情勢を見ていて、このままで日本が新しい国際社会でそのような役割を立派に果たすことができるのか、大いに疑問を感じざるを得ません。世界が大きく激しく変わりつつある時に、日本も古い自己中心的な考え方や行動から脱皮しなければ期待された役割をやり遂げて、国際社会で名誉と責任ある地位を得ることは難しいであります。

今や世界は極めて不安定で激動の嵐の中にあります。同時に人類が現在ほど将来に向かって平和と繁栄の希望に恵まれたこともかつてありませんでした。わが国が、重要な国際社会の一員としてこのチャレンジにどの様に立ち向かうのか、今まさに日本人の真価が問われていると信じます。



# 就任の御挨拶

1992年日本人会会長

三井物産㈱ブダペスト事務所

吉岡 直道

日本人会の皆様、あけましておめでとうございます。

今年一年は、私が会長役を務めさせていただきますので、皆様にもどうか宜しくお願い申し上げます。

昨年、当地に赴任直後の江原前会長には、コンサート、当地高校生との野球など、いろいろと新しい試みをしていただきました。今年も、さらにハンガリーの方々との交換・交流の機会を持ちたいと思います。もちろん、日本人会の主たる目的・役割は「当地で生活される邦人各位の親睦、懇親並びに互助を計ること」には変わりありません。しかし、一方、東欧革命の影響もあり、この2年間にハンガリー在住の邦人数は2倍以上になっております。その分、日本人および日本人社会も当地で少しは目立つようになり、また、

ハンガリー側の期待も大きくなっていくようです。私たちが意識するしないにかかわらず、ハンガリーの方々は我々日本人を意識していると思います。むろん、皆様方にはすでに生活、業務を通じて民間外交を立派に果たしておられることと存じますが、日本人会も「組織」として、たとえ小さな一歩であっても、今年2〜3回は懇親の機会を提供したいと考えます。その際は、皆様方には、積極的に御参加下さるようお願い申し上げます。

最後に、時節柄危険な場所（各ターミナルなど）は回避されるよう望みます。ハンガリーは政治革命を1989年に断行しましたが、経済改革の緒に付いたばかりと言えます。経済改革では、まだ新しい座標軸も定まっております。経済問題から治安も幾らか悪くなり、残念ながら有色人種に対する偏見すら生起し始めております。過去の歴史も示すように、革命時にはこれらのものはきつと付随する現象でしょう。非難しても始まりません。我々が

自らを守る以外に手はないと存じます



## 大使館からのお知らせ

(一) ハンガリー入国査証について  
昨年末、空港及び国境で査証取得のできる便宜措置が廃止されましたので出張、観光などでハンガリーへ入国される方は、事前にならば査証を取得するよう御注意下さい。

## (二) 盗難に御注意

ドナウ通信第9号で述べましたが、最近とみに盗難が増えてきています。特に、フォーラムホテルの周辺とヴァーツイ通りに悪質なひったくり事件が多発しています。皆様も外出の際、十分注意して下さい。

# 補習校便り

新学期が始まった最初の土曜日、補習校では、書き初め大会・餅つき大会と2つの行事がありました。

書き初めは、日本ではお正月の伝統的行事となっており、ここ補習校でもこの伝統的行事を子供達に体験してもらうために毎年行っています。日頃筆を持つ機会が少なく、慣れない手つきながらも真剣に取り組んでいました。習字は、何と言っても心を落ち着け集中して書かなければなりません。元氣のよい子供達が、真顔で筆を走らせていた姿に感心させられました。

書き初め大会の後には、とても楽しみにしていた餅つき大会です。餅つきは日本ではお正月に備え年末にかならずしているものです。昔は、各家庭に臼と杵があり、家族で餅つきをし、子供も手伝ったものです。最近はこのようなこともなく、餅つきも機械化されたり、或いは店で餅を買ったりするようになってきました。日本にいる子供で

さえ餅つきの経験がある子は少ないのではないのでしょうか。餅つきに関しては、この補習校のほうが日本のかも知れません。

さて、実際に餅つきが始まると、どの子もつきたがり自分の順番がくるのが待ち遠しい様子でした。小さい学年の子供には重い杵が大変だったみたいですが、つき終わると満足していました。そして、つきたての餅を美味しくに幾つも口にしていました。

また、保護者の方々にも多く参加していただき、賑やかな餅つき大会でした。ハンガリー国籍のお父さんが一生懸命に餅をついている姿を見ると、まさに文化交流の場であったと感じました。

補習校では、これらの行事の他に、こいのぼり集会や雛祭りがあります。日本からはなれて生活しているときこそ、日本の伝統的行事を知り、経験することによって、日本の良さ・文化を見直してほしいと願っています。

# 作文

性格が全く違う父と母

五年 トロム・ペーター

僕のお父さんとお母さんは、性格が全くちがうように思います。これからそのちがいを説明します。

僕のうちではお母さんがいつもそうじをしたりせんたくしたり、料理をしたりしていきがしいです。お父さんはいつもコンピューターで仕事してカチヤカチヤ音を立てています。朝から夜までやってるので、夜お母さんはうるさくてねれません。

僕のお母さんはたくさんしゃべっているがお父さんはいつもしずかです。お母さんは古い家具が好きなのでそれを買いたいのだが、お父さんは新しい方がいいと行ってけつきよくどっちも買いません。それを見て僕は子供っぽいと思うこともあります。またこんなこともあります。学校が休みの時、お母さんは僕とお

父さんを連れてデパートに行きたいがお父さんは「山に行つてさんぼしたほうがいい」と言つてさいごはいつも山に行きません。お母さんは山にはついで来ません。

僕がなにかほしくてお父さんにたのむと「こんなものなくても生きていけるだろ」と言います。でもお母さんにたのむと買つてくれないときがたまにしかありません。

お父さんは僕といっしょに朝六時三十分ぐらゐに起きていっしょに朝ごはんを食べるのにお母さんは八時ぐらゐにしか起きません。でも夜になるとお母さんはまだ元気なのにお父さんは仕事でつかれてもうテレビを見ることぐらゐしかできません。

僕のお父さんとお母さんはこんな性格がちがうのにいっしょに生きているのを見るのはすごくたのしいことです。



## 人物往来 (敬称略)



### 商工会関係

△着任▽

日製産業

可部 秀雄 10月

野村ハンガリー

瀬川 隆生 12月

日商岩井

西田 篤史 12月

△離任▽

野村ハンガリー

奥田 一仁 12月

日商岩井

森井 健次 12月

ハンガリー民俗あれこれ②  
 ↳ベトレヘム劇復興

平賀 英一郎

澄み渡る鈴の音は神の訪れ。12月24日の寒い夜、表に鈴の音が響けば、それが何を意味するか村人はちゃんと心得ている。扉を叩く音がして、入ってきたのは白い服に冠のようなものをかぶった少年。声を張り上げて

「神を讃えてもよろしきや!」

もちろん、もちろん「よいともさ」の答えを待つまでもない。同じく白い衣装で教会の模型(ベトレヘムという)を運んでくるのは天使の役。続いて羊飼いの少年たちもくる。そして羊の毛のわさわさした外套を着込み、白い髭に顔を隠し、大きな杖をついた老羊飼いが呼び出される。99才ということになっていく彼は耳が遠く、若い羊飼いの言葉をとんでもなく誤解しては、一場の滑稽を演じる。

「爺さん、ベツレヘムへ、イエス(耶穌)に挨拶に行こう」

「どこへだと？ デブレツェンのユリシカ(Juriska)の所へか？」

クリスマス・キャロルが歌われ、天使のお告げを受けて、羊飼いたちはベツレヘムの前にひざまづく。聖書イエス降誕のエピソードの田舎風な劇化である。終わった後、家人はケーキを振舞い、演者ももっと年長ならばパーリンカの杯が回され、お礼に、昔はリンゴやクルミだったが、今はもっぱら金を与える。そして少年たちは鈴音響かせ、隣の家へと退出する。

どっこい生きている、ベツレヘム劇は。戦後というのは社会的構造変化の多分人類史上かつて無いほど、なんて大仰な言い方をしているくらい大きかった時代で、この大波に飲み込まれ、他の習俗と同様、一時は多くの村でこういう劇は絶えてしまったのだけれど近年また復活してきている。一方で昔ながらの伝統を頑なまでに守っている

村があると思うと、他方では村の司祭や教師がもの本を参考にして新作したものを演じさせていたりもする。生きているのだ。このクリスマスの前に、ケチケメートに、ハンガリー各地及びスロヴァキア、ウクライナ、ルーマニアのハンガリー地域から三十近いグループがやってきて、ベツレヘム劇大会が催された。この習俗が再び盛んになる兆しは至るところに見受けられる。共産党支配が終わって宗教が復興しているのと軌を一にする現象だが、それよりもきつと戦後の社会的変動が一段落して、自分の村の伝統を見つめ

直すゆとりと必要が出てきたことが主だろう。都市化学工業化という戦後の大変動に比べれば、「革命」後の変化など小さなものだ。ベツレヘム劇が廃れていた理由を問うと、決まって「あれは宗教に関わりある行事だから、共産主義の元では圧迫されていたのだよ」としたり顔で言いたがるけども、そしてそれはある程度までその通りなのだ

けれども、なんでもかんでも共産党に尻を持ってちゃいけない。ハンガリーなどとうてい太刀打ちできないほど共産党が暴政を欲しいままにしていたルーマニアで、羊飼いたちは、絶えることなく聖夜の訪問を続けていたのだから……。



## 掲示板



①

帰国にあたり、現住のフラットをお勧めします。(4月1日より)

1LDK (33平方メートル)

電話付き

家賃：月3万円(フォリント可)

住所：Budapest VI.

Bajcsy-Zsilinszky ut 19/A

VI/6

☆連絡は岡本真理まで

(015310520)

難しい、難しいと言われるハンガリー語、本当に難しいのでしょうか。

ハンガリーに暮らしてみると、「意外にやさしいじゃないの」とお考えの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そうです。コミュニケーションは言葉だけではありません。ニコツと言、プスツと言では大違い。文法的には間違っているても、ジェスチャーと笑顔さえあればなんとか言葉は通じるもの。しかし、肝心の一言の使い方のTPOを間違えるとんだ誤解を招くものです。その例を2、3御紹介致します。

エピソードその①

「セルヴス」がもたらした誤解

こちらではそんなにお金持ちではなくても、気軽にお手伝いさんやベビーシッターを頼んでいる家庭が多いのですが、こうした「使用人」との挨拶にはちょっとした注意が必要です。

教科書では、初対面の人やあまり親しくない知り合い、目上の人に出会った

ら、まずはさておき「ヨー・レッゲルト・キーヴァーノック」(朝)、「ヨー・ナポット・キーヴァーノック」(日中)、「ヨー・エシュテート・キーヴァーノック」(日暮れから夜にかけて)と挨拶しましょうと書いてあります。それ以外の親しい人には、「セルヴス」、複数の人達には「セルヴストック」といういつでも使える便利な挨拶言葉があります。時には、「スイア」、「スイアストック」という「セルヴス」のさらにくだけた形まで耳にします。では、隣近所の人や同僚、定期的に家にきてもらっているお手伝いさんなどにはどの挨拶言葉を用いればよいのでしょうか。

ある日本人の若い奥さんが、いつもきてもらっているベビーシッター兼お手伝いさんが親切でよく気が付くからというので、「セルヴス」という挨拶をするようになりました。ところが、このお手伝いさん、しばらくするうち

に奥さんの不在中に電話はかけまくる、

台所や冷蔵庫にあるものは勝手に食べるなどと、自分の家にいるように振舞い始めたのです。奥さんは何と不躰な人だろうと思ひ、説明もなしにすぐにこのお手伝いさんにやめてもらいました。お手伝いさんは、あれほど親しい、友達同様の付き合いをしていた奥さんに、突然説明もなく明日から来なくてよいと言われて呆れるやら怒るやら。お手伝いという範囲を越えてあれだけ親身になって世話をしてあげたのに、日本人というのは何と無礼で尊大なのだろうと思ってしまったということでした。

「セルヴス」という挨拶は、対等の関係にある親しいもの同志が使う言葉ですから、このお手伝いさんは日本人の奥さんと「セルヴス」付き合いが始まってから、二人は気のおけない良い友達、家族同様の付き合いをしていると勘違いしてしまったのです。隣近所のお付き合いも同様で、「セルヴス」付き合いが始まると友達関係が成立したことになるので、家の中までづかづか入って来られても

文句は言えないということですが。このように、相手と一定の距離を置きたければ「セルヴス」を使わないことが肝要です。

これが職場となると少し使い方が違います。職場では一般に地位の上下にかかわらず、同性同士は「セルヴス」で挨拶し合います。しかし、異性間の挨拶の場合、年齢や地位に隔たりがあると使わないのが普通です。年齢や地位に隔たりがあっても用いる場合は職場を離れてプライベートなお付き合いがあるということを意味しています。

因みに、元来ラテン語で「従者、家来」を意味する「セルヴス」付き合いで、「セルヴス」という言葉を始めに口のできるのは、同性の場合年上や目上の人、異性の場合同年代間は女性、男性が遙かに年上るときは男性です。古くは、お酒を注いだグラスを持つ手を交わしてグラスを飲み干した後、左右の頬に接吻をするという儀式からこのお付き合いが始まったようですが、今はあまり見られなくなりました。



### エピソードその②

「電話での挨拶をお忘れなく」

日本人は、電話での会話の前に、まず「もしもし」といってから人を呼び出し、用件を話し始めますが、ハンガリー人の場合、この「もしもし」にあたる「ハロー」の後、必ず「ヨー・ナポット・キーヴァーノック」などの挨拶をしてから用件に入ります。こうした挨拶を忘れると、とんだ礼儀知らずお里が知れるということになります。

実は、この「ハロー」の後に挨拶をし

ない日本人が意外に多く、「日本人というのは礼儀を重んじる民族だと聞いていたが、不躰な人が案外多いのですね」としばしば周囲のハンガリーの知人・友人に言われ、言葉に詰まることがあります。筆者も、電話で「もしもし」の後に挨拶をせず、すぐに用件を持ちだし、ひんしゆくを買ってしまったことがあります。た。日本語で考えながらハンガリー語を話したことのなせる技だったのでしょうが、ついついやってしまったのです。幸いにも間接的に忠告をしてくださる方があり、「あら、そうだったかしら？」と始めて気が付いたのですがそれ以後は気を付けるようになりました。これは私一人がよくやる間違いではなさそうで、どうも日本人に一般的な現象のようです。電話でハンガリー人と英語で話す時もハンガリー人の頭はハンガリー語チャンネルになっていきますから、「ハロー」の後に挨拶を付け加えないと、このひとは躰がちやんと出来ていないと思われてしまいます。どうぞ御注意下さい。

ハンガリーの冬の夜空も素晴らしい。凍てつく空に冴える月や、大きく広がる闇空を裂く天の川に、煌く北の星座群。それにも増して、今冬のブダペストの夜景がハンガリーの夜屋を圧倒し続けてきたことは、新生ハンガリーをまさに象徴する輝きであったと思う。ブダペスト人にとっては、何時も見慣れた夜景であり、感動も僅かなり、とも言えるかもしれないが、昨冬迄はブダペストの誇る夜景も闇の中に消える日が多く、冴え渡る夜屋にその美を譲り渡していたもの。それでも昨冬は週末には気紛れに輝き灯る日もあったが、二年前の冬はずっと暗い夜が続いたと聞く。

今冬は、筆者の知る限りでは、連日光に浮かぶブダの王宮、教会等がドナウに映え続けている。この夜景はブダペストが世界に誇れるもの。旅人がこれに接すれば決して忘れることのでき

ない魅力を湛えたドナウの至宝。しかし、これがひと度闇に消えてしまっただけで、冬の寒さが身に凍みるのみ。観光立国に目覚めしハンガリーとしては当然のサービスとも言えるのだが、実は哀しき現実も読めてしまうのはハンガリー在住者だからか。市場経済への過程で苦しむハンガリーは、工業生産の落ち込みで電力消費量の大幅減となり、幸か不幸か、今では旧ソ連からの電力輸入に頼る必要もないのでは。省エネルギーとは相反するライトアップサービスにも、特に異論も出ることもなく、旅人への大判振る舞いと同時に、懐かしいハンガリー人たちを、せめて心だけでも明るくすることで役立っている。

いや、余計な裏を読むは無粋なりや。素晴らしいドナウ河畔の夜景を、今宵も、パーリンカでもぐい飲みしながら素直に味わい、天下の輝きを肴に出来る幸せに浸ることにしよう。乾杯！

(まじゃーる・英介)



掲示板



②

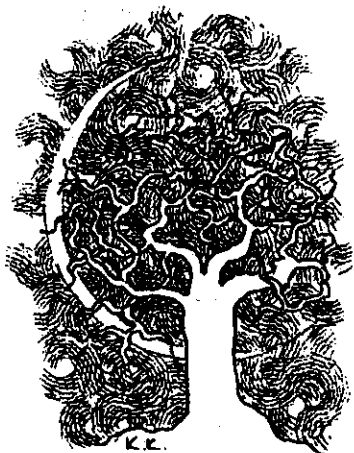
フラット売りなし

都合により、現在所有のフラットを売りたいと思いますので、感心のある方は御連絡下さい。(シヨヴェーニ)

フラット所在地

1035 Bp. Miklos u. 3 IX/50

連絡先(勤務先) ☎ 25212455





# 留学生コーナー

（漆原朝子さんを

迎えて）

先日1月19日、リスト音楽院大ホールに於て、漆原朝子さん（ニューヨーク在住）、加藤洋之さん（リスト音楽院）両氏によるヴァイオリン&ピアノのデュオリサイタルが行われました。今回は、加藤さんの御協力によりいろいろお話を伺うことができました。

今回の共演のきっかけは、お二人は音楽高校時代からの同級であり、以前から共演をしていたということです。漆原さんも、リスト音楽院のホールを「とっても素晴らしい、演奏しやすかった」とのこと。

本番では緊張している様子であった加藤さん。終演後の感想は「うまくいかなかったところばかり覚えているが、数年振りに漆原さんと演奏でき、懐かしく感慨深かった」そうです。

もちろん私、オーディエンスとして

はとても感動の一夜でしたが、どの様にリハーサルをしたかと尋ねますと、「最初からピットリ合った」と驚きの答えが返ってきました。

これからも益々の御活躍を期待する私ですが、加藤さんも「また共演したい」とのこと。最後に「ここで勉強して良く変わったと思いたい」と終始謙虚な加藤さんでした。

とても素晴らしいコンサートをプレゼントしてくださったお二人に「お疲れ様」と、もう一度拍手を送りたいと思います。（K・Y）

（お知らせ）

リスト音楽院在学中の山本浩一郎君は11月16日〜24日に行われた日本管打楽器コンクールに於て一位を受賞しました。今回はトロンボーン、フルート、ホルンの部門が開催され、トロンボーン部門は第一次予選から143名という激戦で始まり、この中から15名が選ばれ、さらに5名が本選に残りました。11月24日に虎ノ門ホールで受賞者の演奏会があり、浩一郎君はここで大賞も受賞しました。（栄野川）

## 日本人会1992年度活動計画

### （一）行事

- 1 映画会（年2回） 2月中旬
- 2 遠足 10月中旬
- 3 運動会 5月
- 7月

### （二）会報

- 4 ハンガリーとの交歓会及びコンサート
    - ・花見
    - ・友好協会との交歓会
    - ・コンサート・バザール
  - 5 総会（寿司パーティー）12月
- 年4回発行の予定。投稿大歓迎。

チキン・グヤーシユ佐藤風

今回御紹介する料理は母のオリジナル料理で、お惣菜の一つとして試してみれば幸いです。正統派ハンガリー料理のグヤーシユとパプリカシユ・チルケ(チキンのパプリカ煮込)をミックスして、我が家風に改良したものです。分量は4人前を想定していますが、好みによって適当に変えて下さい。日本ではよく作り、日本人には大変好評ですが、ハンガリー人には異端派ハンガリー料理だといわれるのが怖くてまだ振る舞ったことがありません。

《作り方》

鶏手羽先 4本

(ゼラチン質があるのでスープにとろみを付けるために使う)

鶏モモ肉 4本

にんじん 小1本

じゃがいも 大1コ又は中1コ

たまねぎ 中1コ

ごぼう にんじんと同量

完熟トマト 中1コ(あれば)

にんにく 2カケ

香辛料としてパプリカ、塩、胡椒

1. 鶏肉に塩・胡椒を少々すりこむ。

2. フライパンにサラダ油大さじ2を入れ、にんにくのみじん切りを焦げない程度に炒める。

3. 鶏肉を入れ、にんにくの香り付けをする。皮の色がきつね色になってきたらフライパンから煮込み用の鍋に移す。

4. 同じフライパンに適当な大きさに切った野菜(にんじん、じゃがいも、たまねぎ)を入れよく炒める

5. 野菜がしんなりしてきたら、先程の鶏肉を入れた鍋に移し、水をひたひたより少し多めにいれる。

この時、適当な大きさに切ってアク抜きしたごぼうと刻んだ完熟トマトを入れる。

6. 鍋に浮かんでくるアクをきれいに掬って取った後、パプリカ大さじ5(好みによって量は調節して下さい)塩、胡椒で味付けをし、肉が柔らかくなるまでゆっくり煮込む。

(紀子)

随想

ハンガリーの日本嗜れ

西田 篤史

日本は春夏秋冬、季節の変化が日本人の情緒にもびったりあっているのだろうが、それぞれの季節を様々な行事や旬の食べ物を通じて楽しんでいる。南北に長い日本では、寒さについても様々で、雪



深い冬の季節をじっと耐える地方もあれば、雪を実際に見たことのない人もいる。ひと降りの雪にも機能を麻痺させてしまう都会。この都会に住む若者も、冬ともなれば、年々少なくなる雪を求めてスキー場への渋滞高速に飛び込んで行く。また、季節は変わり、昼寝などして過ごしたい、蒸し風呂のような真夏の炎天化でもジャパニーズ・ビジネス・ゴルフプレーヤーは「プールの後に飲むビールが更に旨くなる」などと勝手な理屈をつけてコースへと出て行く。私が第一印象で感じたハンガリーの素晴らしさに触れるつもりが、今の日本人の行動を自嘲する話になってしまった。

四歳から東京育ちの私は寒さに弱くどちらかという太陽が燦々と輝く夏が好きである。昨年12月にハンガリー駐在の任で当地に始めてやってきた私は、実際にこの地を踏むまでは、東欧の冬は毎日どんより曇り、時には吹雪が吹き荒れ、街では人々は重い外套を着て背を丸くして足早に歩いていると

いうイメージしかなかった。

ところが「百聞は一見に…」の例え通り、私の勝手な想像は全く意味がなかった。確かに温度計に表示される気温は、日本ではコートの襟を立てる気温である。しかし、日本のような木枯しが吹くこともなく、眩しいくらいの太陽が顔を見せる日は思わず春を思わせる。今年のハンガリーは例年と違い特別なかもしれないが、この季節でも思わず「曇一つない日本晴れ」と表現したくなるような快晴の日によって一般的に夜が長く一日中低い雲が垂れこめているヨーロッパの冬で、どれだけ我々日本人は救われているだろう。恐らくハンガリーの人も我々と同じ感覚ではないだろうか。

あの初めてブダペストの空港に到着した日もそうであったが、つい先日ドイツからの帰途、飛行機は灰褐色の雲海を下に見下しながら飛んできたがハンガリーが近付くとふっとこの雲海が切り落とされたように無くなっていく。そして地上に降りてみれば先程の

日本晴れである。太陽は不公平にも特別にこの国を照らしているような気がしてならない。

## 日本人会より

一、昨年度の日本人会総会及び寿司パーティーは、出席者が180名を越え、ハンガリー日本人会総会としては史上最大規模となり、関大使(名誉会長)の御挨拶から始まり、レストラン「JAPAN」による寿司パーティーマジックショー、そして福引き大会と盛大に楽しく終了いたしました。この日、裏方として御協力頂きました皆様方には、本当にお世話になりました。改めて御礼申し上げます。

一、新役員紹介

昨年度の総会に於いて、左記新役員が決定いたしました。日本人会は皆様方のものであります。新しい一年、宜しく御支援下さい。

会長 吉岡 直道

(三井物産ブダベスト所長)

理事 山地 征典

(エオトヴェシ・

ローランド大学助教授)

桑島 有一

(ニチメンブダベスト次長)

村岡慶之輔

(三菱商事ブダベスト所長)

会計 酒井由美子

一、日本人会への御連絡・お問い合わせは左記にお願い致します。

吉岡 (事務所) ☎14013968

(自宅) ☎20112988

酒井 (自宅) ☎20110825

一、本年度の初行事、恒例の映画会

(2月16日)は、子供向け漫画と、寅さんシリーズ最新作で、懐かしい日本を偲んでいただきました。

寅さん映画は伝統的な日本のよさが溢れる泣き笑いでした。今回観賞できなかった方々は、次回の楽しみとして下さい。

尚、当日、昨年度の会計報告もなされましたが、健全会計となっております。

ドナウ通信編集部

ドナウ河畔に小さな春が息吹き始めました。やがてあの素晴らしい季節が大きな顔をしてやってくることでしよう。

部を設け、従来日本人会会長が編集役を兼任していたのを助け、会長本来の役割に専念して頂くと共に、ドナウ通信の日本人会会報としての充実を画すことになりました。

昨年来より、各分野に分け編集にご協力頂いております皆様方には、勝手ながら、引き続き編集委員としてこの紙上をお借りしお願い申し上げますと共に、さらに紙面の充実を計るべく、折々に会員の皆様方に参画をお願いすることになると思いますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

ドナウ通信は皆様方の会報です。会員各位が編集部員として参加して頂くことを希望します。シリーズ物への参画、随想・情報など、全員参加による楽しい会報に育ててやって下さい。

ドナウ通信編集部連絡先

江原 (日商岩井)

☎13814357

13814538

ドナウ通信も第11号発売を迎えました。そして、今年よりドナウ通信編集